

Q. 1385

DOCUMENT 2827

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
LEGAL SECTION, MANILA

APO 500
21 May 1946

MEMORANDUM TO: Prosecution Section (Report No. 304)
THRU: Executive Officer, Legal Section, Manila.
SUBJECT: Execution of Charles PUTNAM, Thomas DAGGETT,
Captain Vicente PINON and six other unnamed
Filipinos on 19 March 1944 at Alaminos, Pangasina:
P. I.

* * *

II. SUMMARY OF EVIDENCE:

On 19 March 1944, two Americans and some Filipinos were taken from the Japanese garrison at Dagupan, Pangasinan, to the garrison at Alaminos, Pangasinan. The following morning, the town chief of police saw the bodies of the two Americans and seven Filipinos in a grave within the garrison premises. The Americans had been beheaded and the Filipinos had been bayoneted (R 4, 7).

* * *

書類 第三八三七号

①

Doc 2827

聯合國最高司令官總司令部在マニラ法務部

軍事郵便局 五〇〇

一九四六年一月五日

檢察部宛覽書(報告書第三〇四号)

在マニラ法務部行政官 經由

題目 一九四四年三月十九日、フィリピンに於ける

「ミス・ジュエル・チャールズ・アトナム」「トーマス・ダット」「マイヤ・
ピン・大尉」其他三名、姓名不詳のフィリピン人共計三保持

證據、要約

一九四四年三月十九日、米人二名とフィリピン人を數名ハバ
グサツ・ダグバ、日本軍駐屯地カラバ、ガサツ・アラミス
駐屯地ニ連して行かれた。ソノ翌朝、ソノ所、警備隊長
ハ駐屯地内、或墓穴や、米人二名とフィリピン人七名、
死体ヲ見付けた。米人ハ斬首せし、フィリピン人ハ銃剣ヲ
刺殺せられた。

(報告書 第四、第七)

Ex 1385

FILE COPY
RETURN TO ROOM 361

書類 第二八三七号

①

Doc 2827

聯合國最高司令官總司令部在マニラ法務部

軍事郵便局 五〇〇

一九四六年—五月廿一日

檢察部宛覽書(報告書第三〇四号)

在マニラ法務部行政官 經由

題目 一九四四年三月十九日、フィリピンに於て

ミロス、ニルケル、チャールス、アトナム、トーマス、ダグット、マイセ、
ピン、大尉、其他六名、姓名不詳ナルフィリピン人処刑ニ係ル

二 證據ノ要約

Ex 1385
一九四四年三月十九日、米人二名トフィリピン人数名ハバン
ガシラン、サグパ、ノ日本軍駐屯地カラ、バガシラン、アラミス、
ノ駐屯地ニ連シテ行カシタ。ソノ翌朝、ソノ時、警察隊長
ハ駐屯地構内、或墓穴ヤ、米人二名トフィリピン人七名、
死体ヲ見付ケタ。米人斬首セテ、フィリピン人ハ銃剣ヲ
刺殺セテナシタ。

(報告書 第四、第七)

FILE COPY
RETURN TO ROOM 361

書類 第二八三七号

①

Doc 2827

時令國最高司令官總司令部在マニラ法務部

軍事郵便局 五〇〇

一九四六年一月五日

檢察部宛覽書(報告書第三〇四号)

在マニラ法務部行政官 經由

題目 一九四四年三月十九日、フィリピンに於ける

ミロス、於ケル「チャールス・アトナム」、「トーマス・ダット」、「マイセキ」
二人、大尉、其他六名、姓名不詳ナルフィリピン人処刑ニ係ル

證據ノ要約

一九四四年三月十九日、米人二名トフィリピン人数名ハバン
ガシラン、ブグバ、日本軍駐屯地カラ「バンガシラン・アラミス」
ノ駐屯地ニ連シテ行ケル。ソノ翌朝、ソノ所ノ警備隊長
ハ駐屯地構内、或墓穴ヤ、米人二名トフィリピン人七名、
死体ヲ見付ケル。米人ハ斬首ナル。フィリピン人ハ銃剣ヲ
刺殺サレテ中ケル。

(報告書 第四、第七)

Ex 1885

FILE COPY
RETURN TO ROOM 361